

9月1日・防災の日ワンデープログラム『PROTECT MYSELF』 熊本地震から学んだことは？ 首都直下地震を想定した「いま」必要な最新の備え

TOKYO FMでは9月1日(火)の「防災の日」、朝の『Blue Ocean』から夕方『Skyrocket Company』まで5つの生ワイド番組を縦断して、防災の日ワンデープログラム『PROTECT MYSELF』を放送いたします。

首都圏に大きな災害が起きた時、本当に必要な備えとは？
熊本地震の支援を経験した専門家が、
「いま」本当に必要な 2016年の最新の「備え」をお届けします！

今後30年以内に70%の確率で発生するとされる首都直下地震。
備えは本当に十分でしょうか。

東日本大震災で「災害に対する備え」の重要性が再認識された中、
4月に発生した熊本地震・・・やはり、課題は山積していました。
そこで9月1日の防災の日。

TOKYO FM 防災キャスターで防災士でもある古賀涼子アナウンサーなどが
各ジャンルの専門家に『2016年版 最新の備え』をインタビュー。
首都直下型地震を想定しながら、5つの生ワイド番組の中で
【いま、本当に必要な備え】をお伝えします。



TOKYO FM 防災キャスター
古賀涼子

【9月1日・各番組の特集内容】

『Blue Ocean』 10:10~10:20 頃 【①家族を守る！ペットと防災】

災害時にペットと一緒に避難する【同行避難】。熊本地震の際、実際は避難所で周りの目が気になり、ペットと車の中で過ごすケースが多くみられました。首都圏では一避難所あたりの人数が地方より格段に多い中、
東京都獣医師会副理事長 成城こばやし動物病院院長 小林元朗が、首都圏での同行避難に備えて飼主はどのような備え・心構えをしておくべきか解説します。

『LOVE CONNECTION』 11:35~11:50 頃 【②子どもを守る！親子で防災】

災害時に弱者となるのが小さな子どもとお母さん。混乱の中で子どもを連れて、どうすれば危険を回避しながら効率的に逃げられるのか？また、物資不足の中「子どもの備え」として本当に必要なモノと量とは？
熊本地震での支援も経験した**防災ファシリテーター あんどうりす**が、親子で生き延びるための術を紹介します。

『高橋みなみの「これから、何する？」』 13:35-13:50 頃 / 14:00~14:10 頃 【③豪雨がもたらす災害に備える方法とスマホ活用術！】

この時期に多発する豪雨災害。一方で、被害想定や備えについてはあまり知られていないのが現状です。水没する可能性のあるエリアとは？**東京理科大学教授 二瓶泰雄**が最新の想定をお伝えします。
また、災害時に電話や通信だけでなく地図や懐中電灯、コンパスとしても使える「スマートフォン」ですが、まだまだ活用されていないのが、災害時に役立つアプリの数々。そこで、**ITジャーナリスト 三上洋**が【「いま」本当に役立つアプリ】を紹介します。

『シンクロのシティ』 16:05~16:15 頃【④大都市での避難問題！】

首都直下地震が平日の昼間に発生した場合、「大都市避難問題」が発生すると予測されています。どうすれば大都市での混乱を回避できるのか？首都圏での災害に特化し、リスクの高い街の想定や私たちがとるべき行動について「大都市圏避難シミュレーション」の開発者 **東京大学大学院 工学科准教授 廣井悠**が解説します。

『Skyrocket Company』 18:10~18:30 頃【⑤災害時の食！】

災害時、食糧不足がより深刻になる都市部。いま非常食をストックしている家庭も多い一方、期限切れ間近の非常食の活用法も課題となっています。また、被災地では食べ慣れない非常食がなかなか喉を通らないという声も。そこで、「ごちぼう」=ごちそう×防災を提唱し、非常食から防災意識を高めることを推進している **アートディレクター 吉田裕美**が、非常食をアレンジして美味しく食べる方法や、「誰と／どのように／何を」食べることが、災害時の「ごちそう」になるのかを解説します。